

研究分野	受験番号

設問１－１ 別紙「図版群」の①～⑦について、名称を「名称群」から選び「欄Ⅰ」に、主要な特徴を「欄Ⅱ」に記しなさい。

	欄Ⅰ	欄Ⅱ
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		

設問１－２ 以下のA群・B群・C群の中から、それぞれ1つの用語を選択して解説しなさい。

- A群： 登り梁 / モヤーヒサシ構造 / はね木
B群： 台目畳 / 付書院 / 起し絵
C群： 条坊制 / 宿場 / 在郷町

A群から選択した用語：

B群から選択した用語：

C群から選択した用語：

研究分野	受験番号

設問 1－1 図版群

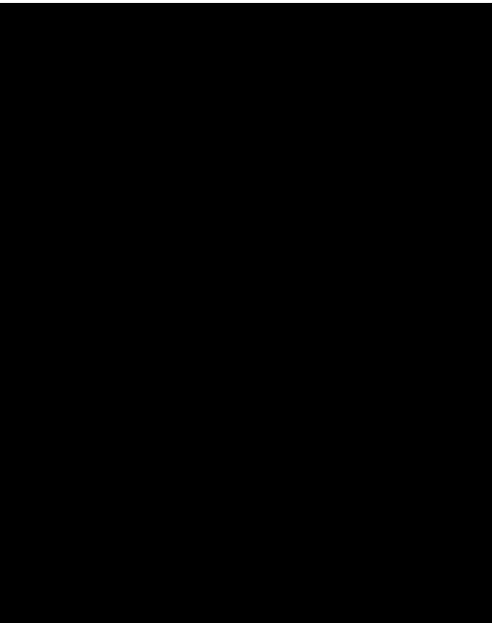


図 ①

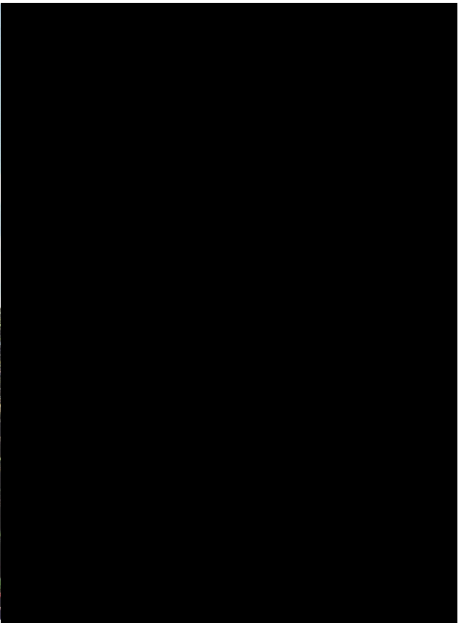


図 ②

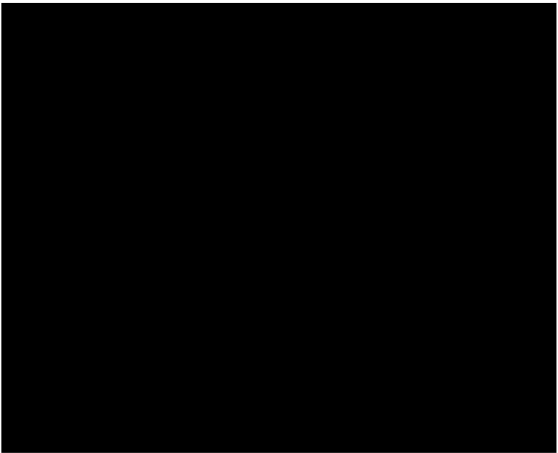


図 ③

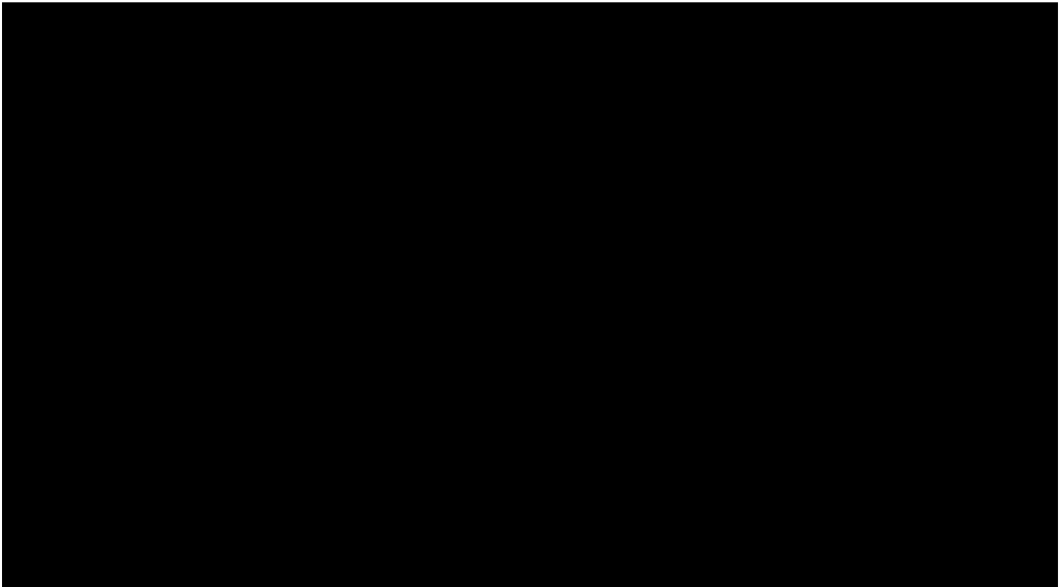


図 ④

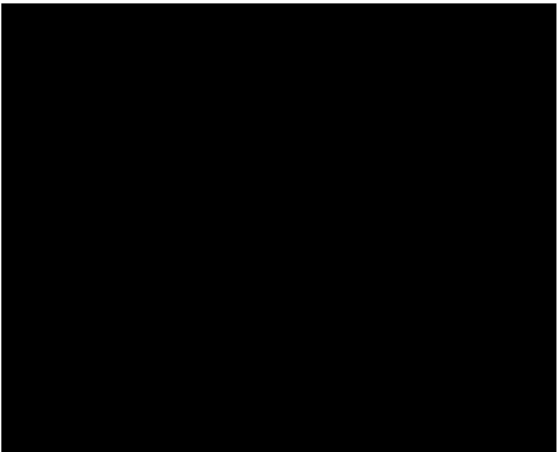


図 ⑤

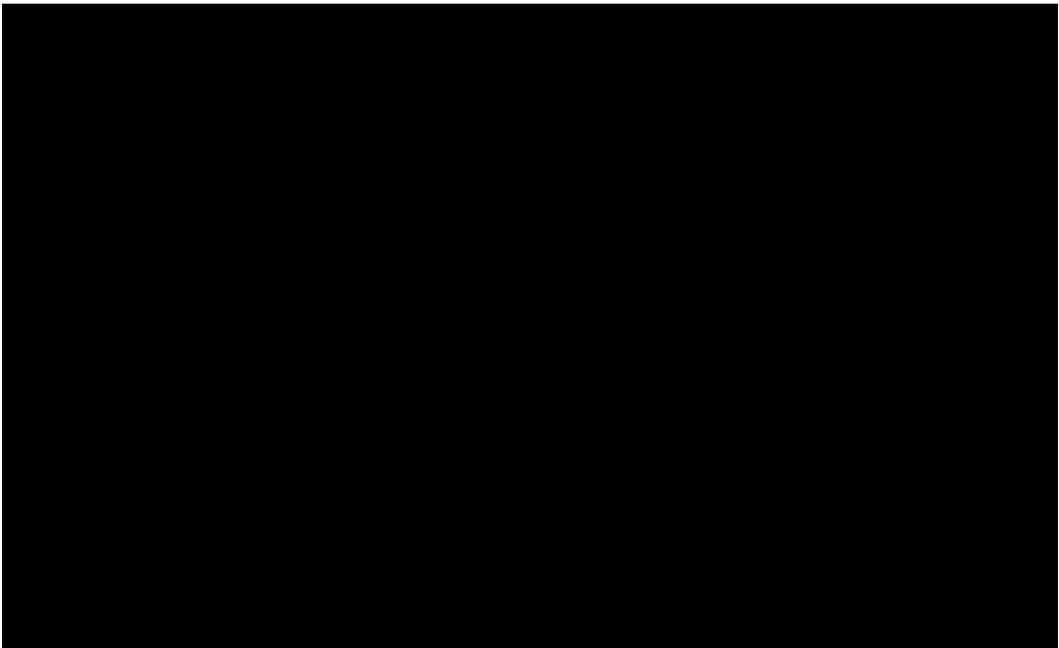


図 ⑥

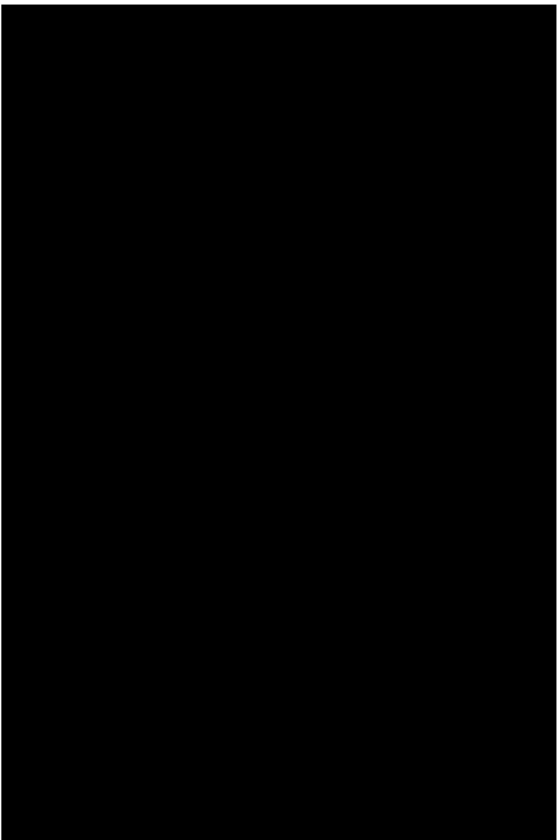


図 ⑦

設問 1－1 名称群

- | | | | | |
|---------|-----------|---------|----------|---------|
| ・円覚寺舍利殿 | ・二条城二の丸御殿 | ・東大寺南大門 | ・犬山城天守 | ・平等院鳳凰堂 |
| ・如庵 | ・新勝寺三重塔 | ・法隆寺中門 | ・西本願寺対面所 | ・浄土寺浄土堂 |
| ・眞珠庵庭玉軒 | ・東三条殿 | ・松江城天守 | ・新薬師寺三重塔 | |

研究分野	受験番号

2025年度(令和7年)東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [建築史]

設問 2

建築に関する用語①～④について、以下の問いに答えなさい。

- ①～④の造形やデザインを特徴とする建築の名称を以下のA～Hから選び、解答欄Ⅰに記入しなさい。

A. ノートルダム大聖堂（パリ）

B. サン・ヴィターレ聖堂（ヴィチエンツァ）

C. パルテノン神殿（アテネ）

D. ルクソール神殿（ルクソール）

E. アヤ・ソフィア（イスタンブール）

F. ラウレンツィアーナ図書館（フィレンツェ）

G. ヴェルサイユ宮殿（ヴェルサイユ）

H. メスキータ（コルドバ）
- ①～④の用語に関する説明文を100～150字程度にまとめ、それをわかりやすく図示し、解答欄Ⅱに記入しなさい。

① ペンデンティブ・ドーム

解答欄Ⅰ	解答欄Ⅱ（説明文）	解答欄Ⅱ（図）

② エンタシス

解答欄Ⅰ	解答欄Ⅱ（説明文）	解答欄Ⅱ（図）

③ オベリスク

解答欄Ⅰ	解答欄Ⅱ（説明文）	解答欄Ⅱ（図）

④ フライング・バットレス

解答欄Ⅰ	解答欄Ⅱ（説明文）	解答欄Ⅱ（図）

研究分野	受験番号

2025年度(令和7年)東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [建築史]

設問 3

次のページに掲載された図①～⑧は、19世紀から20世紀中期に竣工して以降、改修等を経て、現在も使い続けられている建築である。それらの建築について、以下の問いに答えなさい。

- 図①～⑧の建築の名称を選択肢 1（A～J）のなかから 1 つ選び、解答欄Ⅰに記入しないさい。

	図①	図②	図③	図④	図⑤	図⑥	図⑦	図⑧
解答欄Ⅰ								

選択肢 1

- A. 旧富岡製糸場西置繭所
- B. 大英博物館
- C. ツァイツ・アフリカ現代美術館
- D. ブルス・ドゥ・コメルス
- E. 京都市京セラ美術館
- F. ライヒスターク
- G. テート・モダン
- H. オルセー美術館
- I. グラン・パレ
- J. 旧小菅刑務所庁舎

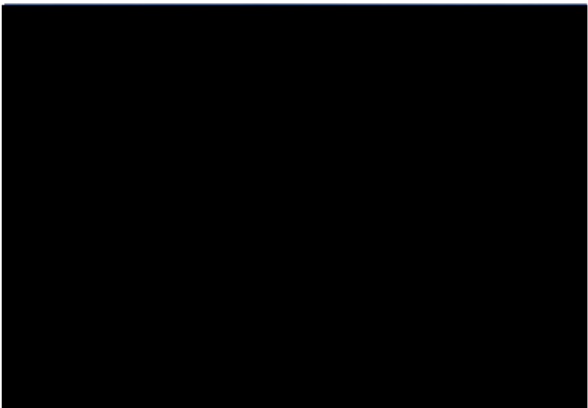
- 図①～⑧の建築のなかから 1 つ選び、その建築の特徴や竣工当初から現代にいたるまでの変化を100-200 字程度で説明しなさい。選んだ建築の図版番号は解答欄Ⅱに、説明文は解答欄Ⅲに記すこと。

解答欄Ⅱ	解答欄Ⅲ

研究分野	受験番号

2025年度(令和7年)東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [建築史]

設問3 図版



図①



図②



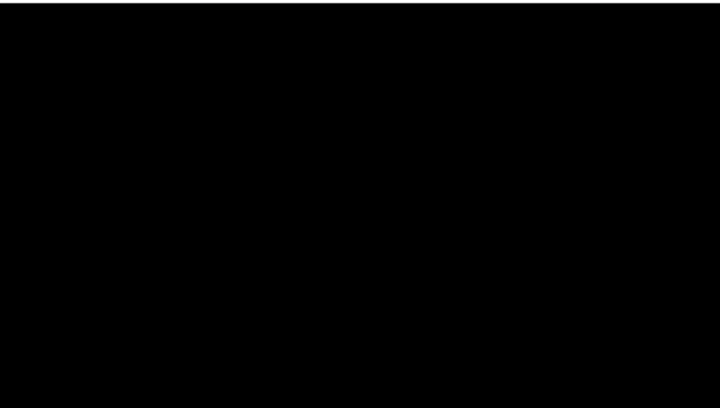
図③



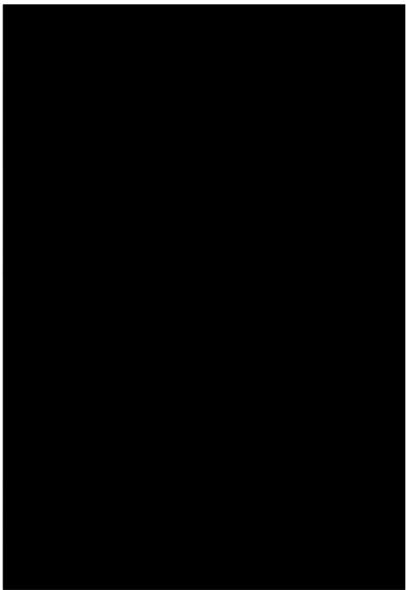
図④



図⑤



図⑥



図⑦



図⑧

以下の文章を読んで各設問に答えなさい。

研究分野	受験番号

設問1 下線部(1)を日本語に訳しなさい。

設問2 下線部(2)を日本語に訳しなさい。

設問3 下線部(2)が、人間の本质と調和していなければ、その後どうなっていたと筆者は考えているか。
本文から15ワードで抜き出さなさい。

設問4 下線部(2)について、schoolにまつわること以外の例をひとつあげながら、具体的に日本語で説明しなさい。あ
なた自身の意見を反映させて構わない。(50字以上)

設問5 下線部(3)を日本語に訳しなさい。

設問6 筆者はなぜ下線部(3)であると考えているのか。
本文中に述べられている理由を日本語で説明しなさい。直訳でなくても構わない。

設問7 下線部(4)について、筆者はいくつか例を挙げている。
そのうち2つについて、それぞれ日本語に訳しなさい。

設問8 あなたはこの文章の続きを書くよう求められた。その内容を英語で記述しなさい。
(100ワード程度、±2割を許容する。これを超えないこと)

参照：

100ワードは右程度である(前ページ文章より抜粋)．'The classrooms should evoke their use by their space variety and not follow the usual soldierlike dimensional similarity, because one of the most wonderful spirits of this man under the tree is his recognition of the singularity of every man. A teacher or a student is not the same when he is with a few in an intimate room with a fireplace as in a large high room with many others. And must the cafeteria be in the basement, even though its use in time is little? Is not the relaxing moment of the meal also a part of learning?'

研究分野	受験番号

2025 年度(令和 7 年)東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [英語] 解答用紙

設問1

設問2

設問3

設問4

設問5

設問6

設問7

1.

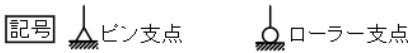
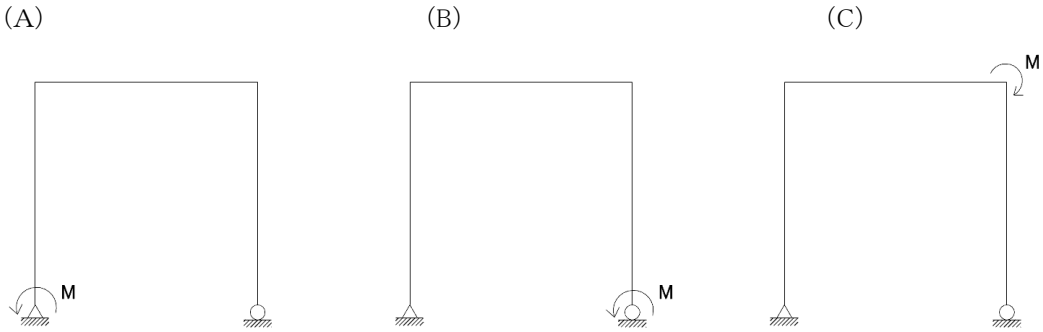
2.

設問 8

研究分野	受験番号

[1] 架構の応力と変形

次の架構の応力図 (N、Q、M) と変形図を求めよ。変形図には反曲点位置及び曲げ変形の方法を明記すること。



[2] 架構の応力と変形、解法の記述

上記の架構(B) の解法について記述せよ。

[3] 架構と構造用語

以下の3つについて、具体的な建築物の事例を挙げ、ダイアグラムと文章により説明せよ。

- (1) 構造材料と環境負荷
- (2) 免震・制振構造と震災後の復旧
- (3) 既存建物活用の利点と課題

[1] 架構の応力と変形 (5 点 × 12 = 60 点)

	(A)	(B)	(C)
N 図			
Q 図			
M 図			
変形図			

研究分野	受験番号

[2] 架構の応力と変形、解法の記述 (25 点)

解答用紙—2

[3] 架構と構造用語 (5 点 × 3 = 15 点)

(1) 構造材料と環境負荷

(2) 免震・制振構造と震災後の復旧

(3) 既存建物活用の利点と課題

研究分野	受験番号

修士課程選抜試験 [設計実技試験]

【試験時間】 9：00－17：00

「オルタナティブファミリーの家」

【課題】

都心の某住宅街に、異なる仕事を持つ4人が共同生活をおくる家がある。

A氏は植物研究者

日当たりのよい、高さ9メートル以上（一部でも可）の温室を必要としている。毎週末には温室や敷地外構に近隣の住民を集めて、ガーデニング教室を開催している。

B氏は抽象画家

北側の高窓から光を取り込むアトリエを必要としている。

2.4メートル角の正方形キャンバスを壁に架け、脚立を用いて、油彩による抽象画を描くスタイルである。長期間掛けて1作仕上げては画廊に渡すので、キャンバスのストックは必要ないが、搬出入動線に配慮する必要がある。

C氏はピアニスト（D氏とパートナー関係である）

近隣に対して遮音性能のある、グランドピアノ（幅1.5、奥行2メートル）1台が置かれた空間を必要としている。この空間では、時に最大で15名ほどの観客を集めたミニコンサートも開催されている。C氏は脚が悪く、ピアノのペダルを踏むことはできるが、車椅子生活であり、階段移動ができない。コンサートに来る観客は、会場からA氏の素晴らしい温室をガラス越しに眺めることができる。

D氏は料理研究家（C氏とパートナー関係である）

4人程度の生徒を対象とした料理教室を開催できる、皆で囲める作業台を備えたキッチンを必要としている。C氏のコンサート終了後に観客に振る舞われる料理は大変好評である。キッチンでの工作中、漏れ聞こえるC氏のピアノやB氏の制作風景を垣間見ることが好きだが、料理に油絵具の匂いが混ざるとは好まない。

共通

4名は3食、D氏の料理を食べながら会話を楽しむ時間を大切にしている。それぞれの蔵書や調度は食卓のあるスペースに仲良く並べ、バスルームや洗面も共用だが、就寝スペースはそれぞれ別である（C、D氏は共用）。C氏のピアノ練習は深夜に及ぶこともあるので、音環境には配慮が必要である。

C氏の階移動が必要な場合は、内部有効寸法900ミリ角のホームエレベーターを設置するものとする。

敷地は坂道の勾配なりに傾斜しているが、急坂であるため、C氏は単独では歩道側からしか家に入出入りができない。

4人にとってそれぞれの仕事に没頭する時間は重要であるが、A氏の温室や外構のガーデニングは道行く人々にファンが多く、またC氏とD氏もコンサートや教室を通じて近隣コミュニティと良好な関係を築いている。

最低限必要とされている床面積は以下の通り。これ以外は各自の提案に委ねる。

A氏の温室スペース	10平米以上	高さ9メートル以上が必要（一部でも可）
B氏のアトリエスペース	10平米以上	2.4メートル角の絵が掛けられる壁が必要
C氏のピアノスペース	30平米以上	音響のため、平均5メートル程度の天井高が必要
D氏のキッチンスペース	20平米以上	日常のリビングダイニングを兼ねる

【問題】

以上の条件に十分留意し、異なるそれぞれの活動が豊かに共存しながら周辺環境とも魅力的な関係を持ち合った、あなたの考えるオルタナティブファミリーの家を設計しなさい。

【提出物】

以下を、A1判ケント紙1枚にまとめなさい。

- ・設計趣旨 200文字程度
- ・構成ダイアグラム（表現方法、スケール等は自由）
- ・各階平面図（1階は配置図を兼ねる） 1/50
- ・断面図 2面 1/50

※縦横使い自由、着彩自由

以下を、B3判画紙1枚にまとめなさい。

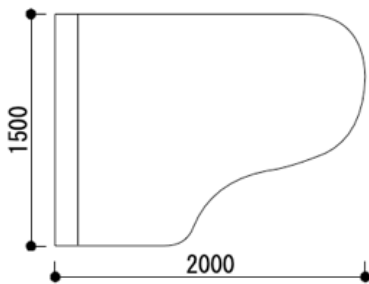
- ・内観パース カット数自由
- ・外観パース カット数自由

※縦横使い自由、着彩自由

【配布物】

- | | | |
|----------|---------------|----|
| ・問題用紙 | A3 | 1枚 |
| ・添付資料 | A3 | 1枚 |
| ・提出用 | A1判ケント紙 | 1枚 |
| ・提出用 | B3判画紙 | 1枚 |
| ・着彩試し塗り用 | B3判画紙 | 1枚 |
| ・エスキス用 | A3判普通紙 | 3枚 |
| ・エスキス用 | A2判トレーシングペーパー | 1枚 |

※添付資料の図面は寸法値を正とする。



参考ピアノサイズ 1/50

